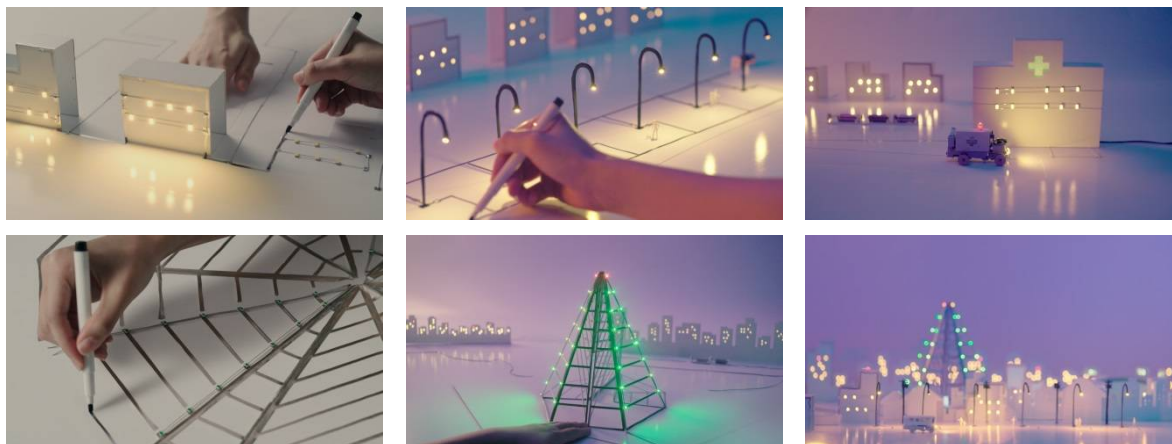


【動画】テクノロジー×アートの融合**世界が注目する“電子回路ペン”で紙に線を描くと…
明かりが灯り、ユニークな仕掛けで街並みが完成！****関電工 WEBムービー****「光を灯す/future with bright lights」 本日公開****動画URL <https://youtu.be/zRbQvEefhXc>**

株式会社 関電工（本社：東京都港区、取締役社長：森戸義美）は、WEBムービー「光を灯す/future with bright lights」を、7月4日（月）より、YouTube（関電工 公式チャンネル <https://youtu.be/zRbQvEefhXc>）で公開します。なお、これに併せてTV-CM「光を灯す」篇（30秒）も同日からオンエアが始まります。この動画では、白い紙の上に特殊な“電子回路ペン”で線を描いていくと、インクに電気が通ることで明かりが灯り、ユニークな仕掛けで立体的な建物やタワーなど美しい街並みが立体的に現れます。音楽は未来や希望をテーマに、brightやlightsといった歌詞をちりばめたオリジナル楽曲です。

関電工は電力の安定供給を守るという使命のもと、社会や暮らしの快適・便利を支えるために、発電所や工場、オフィスビル、商業施設、病院など、幅広い分野の設備工事に携わっている総合設備企業です。この動画は「ひとりひとりが、未来を灯す。」という関電工の企業メッセージと事業活動を、電子回路ペンによるテクノロジーとアートを融合した世界観で表現しました。

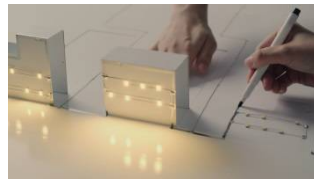
**◇世界から注目される、“電気を通す”電子回路ペン**

動画に使用したのは、“電気を通すインク”と言われる、銀ナノ粒子インクの専用ペン「AgIC（エージック）」。東大発のベンチャー企業であるAgIC社が手掛けたこの革新的なペンは、誰でも簡単に電子回路を作ることができるため、国内外など多方面から注目されています。本動画では、平面に配置したLEDとボタン電池を、AgICで描く線をつなぐことで電気が通り、発光する仕組みを使っています。電子回路ペンとそれを持つ人の手が、街並みに「明かり」という「いのち」を吹き込んでいく様子を電気で社会のインフラに貢献する関電工の事業に見立てたストーリーを通じて、「ひとりひとりが、未来を灯す。」という企業メッセージを訴求していきます。

**◇ユニークな仕掛けで“飛び出す”街並み**

電子回路とともに注目していただきたいのが、さまざまな仕掛けで起き上がる街並みです。クモの巣のような平面図が立体的なタワーになったり、描いた円が建物に変身したりします。平面の建築図形が立体になっていく仕掛けは、飛び出す絵本をヒントにしながら制作。インパクトのある仕掛けで、街並みが完成していく様子を表現しました。

<動画ストーリー>



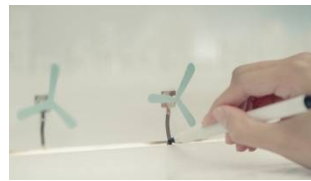
① 白い紙の上に、LEDと電池が置かれた俯瞰の映像に、電子回路ペンがフレームイン。建物の形を線でなぞっていくと、窓の部分のLEDが発光します。ペンがフレームアウトすると同時に、建物が仕掛けで立体化します。



② 建物1棟が描かれるごとにLEDが点灯して意外性のある思わぬ動きで立体化します。人影の見える道端の街灯も、ペンが移動するにつれて、順番に点灯していきます。



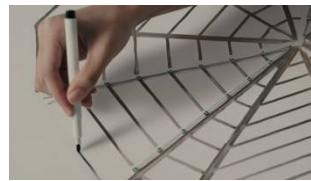
③ 救急車のそばを通る線が、電子回路ペンでつながると、救急車のサイレンが点灯して発車。救急病院に到着すると、そこにはペンが待ち構えていて、病院の部屋に灯りをともし、病院の十字マークが点灯します。



④ 白い空間に置かれた風力発電のブレード。電子回路ペンが、風力発電の柱をつないでいくと、順番にブレードが回り始めます。最後まで線を引き終えた瞬間、背後の街並みに、灯りが点灯します。



⑤ 男性の人形の足元から線を引いていくと、たどり着いたのは女性の人形の足元。すると、ミニプロジェクターが作動し、向かい合う男女がメールで交信する様子が映し出されます。



⑥ クモの巣のような形をした複雑な線をペンがなぞっていくと、LEDが点灯、タワーが完成。タワーの後方にカメラが回りこむと、今度は観覧車が見えてきて、これまで登場した大きな街並みが広がっています。



⑦ 一本の街灯と、その隣に小さな横棒が描いてある平面。「future」という文字を描くと、「f」の文字になった街灯が点灯。地面を照らす光で「ひとりひとりが、未来を灯す。」というコピーが見えるようになります。



⑧ 「KANDENKO」のロゴの形をしたモチーフに、電子回路ペンがフレームイン。手前の線をなぞるにつれて順番にロゴの中のLEDが点灯し、「KANDENKO」という文字が浮かび上がります。

<制作エピソード>

◇線がつながり光が灯り、歓声も！

AgICのペンを使って線を描く工程は、線をつながなければ電気が通らず光りません。試行錯誤を繰り返しながら、途中で線が途切れないよう、何度も練習を重ねました。最初に線がつながり、LEDの光が点灯したときには、スタッフから歓声もあがりました。最終的に使用したAgICのペンは、練習用も含めると計30本にのぼりました。

◇関電工社員も参加した、こだわりの動画

ペンを動かす手のアクションやアングル、カメラワークなど、細部にまでこだわって制作した今回の動画。何度もテイクを重ね、撮影は長時間にわたりましたが、現場にいる全てのスタッフが積極的にアイデアを出し合い撮影。関電工の社員も風力発電のシーンで使用したプロペラ制作に参加するなど、チーム一丸となって作品を作り上げました。

◇風力発電所、オフィスビル、病院…モチーフは関電工ゆかりの建物

動画に登場する建物は、街灯をはじめ、風力発電所、オフィスビル、商業施設、病院など、関電工にゆかりのものを採用しました。また、向き合った男女の人影の背後に、メールや通信を連想させる図形が投影されるシーンがありますが、これは関電工の情報通信部門が、ネットワークインフラの構築や携帯電話の基地局工事などの事業を展開していることを表現したものです。

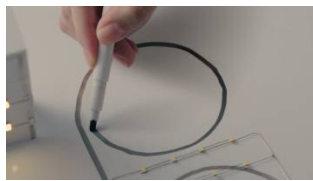
◇音楽は未来や希望をテーマに、アーティスト・YeYeさんが制作

今回の楽曲は、作詞・作曲・歌ともに、CDショップ大賞でニューブラッド賞受賞歴を持つアーティスト・YeYeさんを中心に制作。音楽制作に当たっては「電気が身近で日常を、未来を支えてくれている」ことを、やさしくそして楽しくシンプルに表現しています。歌詞には、未来や希望をテーマに、brightやlightsといった歌詞をちりばめました。音楽は「人」と「電気」の関わりを表現するため、声と電子楽器を組み合わせ、前半は人の温かさを感じるように、ほぼアカペラで、そこにハンドクラップが絡み、中盤から「電気」の温かさを表現するために、アナログシンセなど電子楽器の音で世界感を広げています。

<メイキングカット>



◇ストーリーボード



future
ひとりひとりが、未来を灯す。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDEKO

KANDEKO

◇スタッフリスト

CD	中島功治	PA	清水愛菜
CD	津谷徹	ディレクター	新井風愉
CW	滝村泰史	撮影	杉田千洋江
PL	塚本祐介	照明	西ヶ谷弘樹
CP	高杉蒔	美術デザイナー	斉藤貴教
プロデューサー	高橋里枝	音楽プロデューサー	鮫島充
PM	山下理衣	PR	松尾雄介

◇会社概要

社名：	株式会社 関電工
URL：	http://www.kandenko.co.jp/
事業内容：	総合設備業 電気・通信・空調・プラントなどの各種設備工事 及び土木工事の企画・設計・施工・リニューアル・メンテナンス
所在地：	〒108-8533 東京都港区芝浦4-8-33
代表者：	取締役社長 森戸義美
設立：	昭和19年9月
資本金：	102億6,441万円（東証一部上場）